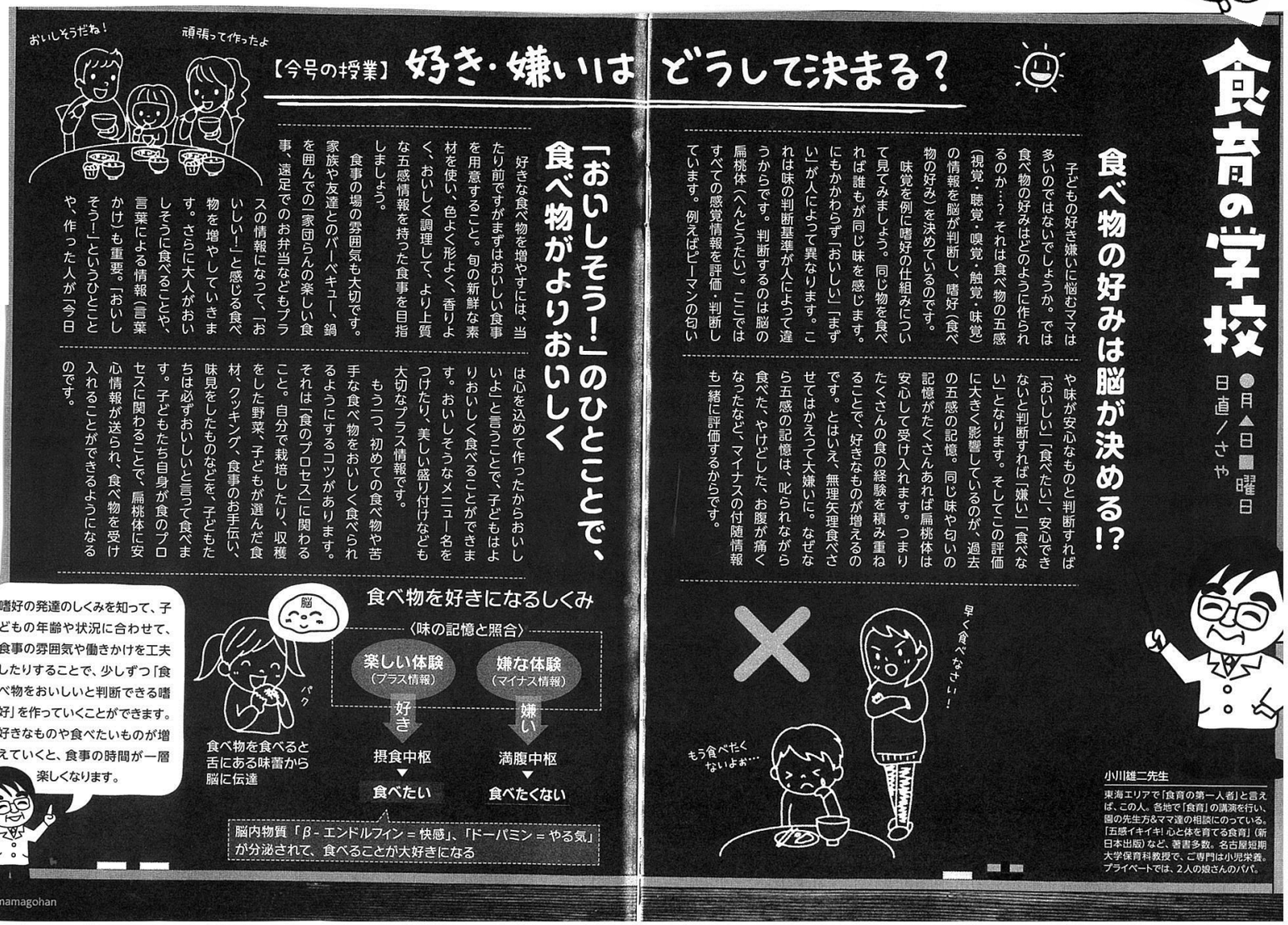
えんちょう先生の わくわくだより

NO21 1.15

３学期が始まり、こどもが休み明け、園の生活にゆっくり慣れていける様に、８．９．１０日の三日間は「新年すいすいあそぼうデー」として過ごしました。この「すいすいあそぼうでー」という響きがこども達は大好きのようです。いつでも、自由に遊べる時間はいっぱいある筈なのに、この日は何かワクワクして、妙にこども達が元気に動き回っている様に見えるから不思議です。何をやっても OK!　・・言葉のマジックなのか？　自由感や開放感がより広がるのか？ともかく、寒くても戸外に出て年長さんから年少さんまで混じってサッカーで走り回り、小さい２歳児の子を手押し車に乗せている子あり、どろんこのハンバーグつくりやピカピカ団子つくり、部屋の中では、空き箱を使ってのおもちゃ作りやトランプ遊び、おもちゃをどさまく出してのごっこ遊びも楽しそうでした。・・・こんな訳でこども達も元気に３学期のスタートを切りました。「できるかな５！」も３回目。翌日の衣服の準備は出来ているでしょうか？就学. 進級に向け、身の周りの生活習慣の見直しや確認もしていきましょう。インフルエンザや感染症にも気をつけて、元気に過ごしましょうね。

食べ物大好き！

赤ちゃんがおっぱいを吸う事で舌の筋肉や口の中の筋肉を発達させ、これが大きくなってから食べ物をしっかり噛んだり飲み込んだりに繋がっていきます。授乳期は、身体に栄養を取る事と人との信頼関係を築く為の大事な時間にもなっていますね。１才頃になると、味覚がはっきりしてくるので、甘い味や旨みは好むけれど、苦味や酸味は嫌いで、今までは食べていたものでも口から出してしまったりする事があります。又奥歯の高さが低く、ごろごろする物はだしてしまう事もありますが、２才を過ぎると奥歯も高さが揃い、嫌いな物も少しは食べようとしてきます。１才．２才の頃は遊び食べ状態も出てきて、食事一つとっても、なかなか難しいものです。家での食事も、こどもには「好き」「嫌い」があると思いますが、食べる事は「脳」なんですね。食事の時間が楽しかったり、苦手なものも好きになれるような声掛けも大事。家と園とで、根気よく、こども達の好きな物を増やしていきたいですね。「ままごはん」掲載の左資料を読んでみて下さい。